

7. BTCからのお知らせ

BTCニュース アンケート調査のご報告

第60号（7月1日発行）において本誌についてのアンケート調査を皆様にお願ひし、多くの方々からご協力をいただきありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

アンケート調査は生産牧場や育成牧場の経営者や従業員の方々を対象に、約1950枚を送付し302件（回収率15.5%）の返信がありました。

ここにアンケート結果と、結果をもとに検討いたしました今後の取り組みについてご報告させていただきます。

アンケート結果

本誌について

平成12年に実施しました前回のアンケートと比較すると「ひと通り目を通す」と「関心の有るところだけ読む」がやや増加し、「毎回全部読む」が減少していました。前回のアンケート後に現在の体裁となり、カラー頁が少なくなったことと、紹介やお知らせ等の比較的読みやすい記事が少なくなったことが要因と考えています。より多くの皆様に「毎回全部読む」と回答頂けるように努力してまいります（表1）。

表1（問）BTCニュースをお読みですか

| | 回答数 | 割合 (%) | 前回 (%) |
|------------|-----|-----------|-----------|
| ひと通り目を通す | 165 | 55 | 47 |
| 毎回全部読む | 94 | 31 | 41 |
| 関心のある所だけ読む | 44 | 15 | 8 |
| たまに読む | 6 | 2 | 3 |
| いつも読まない | 1 | 0 | 1 |

（複数回答あり：8）

技術普及誌として役立っているかについては85%の方から「役立つ」との支持を得ました。役立つ理由として「民間ではできない調査・研究」「実践できる技術」と、本誌が目標ともしている「従業員の教育や再認識」「専門（生産 or 育成）ではない分野の知識」「他の牧場のことを知ることできる」が主な意見でした。

「役立つかわからない」は12%で、「即実践できない技術や知識は役立つかわからない」「仕事内容がなる程度のレベルに達していないと役立たない」といったご意見を頂きました（表2）。

表2（問）本誌は技術普及誌として役立っていると思いますか

| | 回答数 | 割合 (%) | 前回 (%) |
|-------|-----|-----------|-----------|
| 役立つ | 256 | 85 | 87 |
| わからない | 37 | 12 | 11 |
| 役立たない | 2 | 1 | 2 |
| 無回答 | 7 | 2 | 1 |

内容について

内容については「難しい」が前回と比較すると若干増加していました（表3）。

しかし、今後の方向性についての質問に対して「現行のままでよい」が増加し、「もっと幅広い技術情報を掲載してほしい」が減少していますので、内容は少しずつ改善できていると感じています。「技術専門にしてほしい」と「基礎技術程度でよい」とするご意見もあり、読者層によって回答が異なっていました（表4）。

本誌は、牧場に就労したばかりの若い従業員の方にも仕事に関連した専門的な技術情報をやさしく理解して頂くことを目標としております。その点のご理解をよろしくお願いいたします。

詳細な専門知識については記事中の引用や専門書の紹介、技術普及誌の紹介等で対応させていただきたいと思います。

表3（問）本誌の内容をどう思いますか

| | 回答数 | 割合 (%) | 前回 (%) |
|--------|-----|-----------|-----------|
| わかりやすい | 228 | 76 | 76 |
| 難しい | 45 | 15 | 11 |
| もの足りない | 23 | 8 | 9 |
| 無回答 | 12 | 4 | 4 |

（複数回答あり：6）

表4（問）本誌の今後の方向性についてお聞かせ下さい

| | 回答数 | 割合 (%) | 前回 (%) |
|--------------------|-----|-----------|-----------|
| 現行のままでよい | 158 | 52 | 33 |
| もっと幅広い技術情報を掲載してほしい | 88 | 29 | 53 |
| 技術専門にしてほしい | 27 | 9 | 7 |
| 基礎技術程度でよい | 21 | 7 | 4 |
| その他 | 7 | 2 | 1 |
| 無回答 | 12 | 4 | 3 |

（複数回答あり：10）

記事へのご意見、ご要望

多くのご意見・ご要望を寄せて頂きました。その中でも、「育成にこだわらずに生産技術情報も取り上げてほしい」といった意見や「若手ホースマンの対談」「牧場の問題と質問」「牧場の取り組み事例」が目立っており、生産技術や読者参加型記事の掲載を検討中です。

有料化について

本誌の有料化について皆様のご意見を伺ったところ、¥600であれば年4回発行・送料込みで64%の方が購読を希望していました。有料となっても購読する方の中からも、「有料化の場合は内容の見直しが必要」「必要な記事が無いときは買わない」といった意見があがり、編集員一同、一層気を引き締めて誌面の充実に当たってまいります。

なお当面は、広告を掲載頂いている各業者と原稿執筆者の方々のご協力により、現在の配付方法により皆様にお届けできると思います。

その他

「保存のし易いようにファイルホールを開けてほしい」という意見が前回調査に引き続きあり検討致しましたが、限りあるスペースの中でより多くの情報を掲載し、わかりやすく作成するため、これ以上記事スペースを削減することは難しく、今回は見遅らせていただきました。

「従業員にも読ませたい」「バックナンバーがほしい」とのご要望については可能な限り対応いたします。「BTCニュース送付についてのお知らせ」に掲載しました。是非ご活用ください。

また、当センターホームページでは図表をカラーで掲載しておりますので、ご覧頂ければ幸いです。
(<http://www.b-t-c.or.jp>)

BTCニュース編集基本方針

BTCニュースは以下の方針のもとに編集を行っています。今後も皆様の馬づくりの一助となるべく、今回のアンケート結果にもとづき、読みやすく、興味を惹く記事の掲載に努めます。引き続きご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

- ・ 技術普及をメインに据えた雑誌とする
- ・ 図表や写真を主体とした見易い雑誌を特徴とする
- ・ 読者間で知識・技術の共有化をすることによって、技術のレベルアップが期待される雑誌とする

B T Cニュースの送付についてのお知らせ

1．バックナンバーの送付について

住所・氏名・電話番号を明記し「B T Cニュースバックナンバー希望」と書いて、ハガキ、F A X又はEメールで「記事一覧表」を請求ください。

こちらより過去に発行されたB T Cニュースの記事一覧表をお送りします。

ご希望のバックナンバーの番号と部数、住所・氏名・職業・電話番号・利用目的を明記し、ハガキ、F A X又はEメールでお申し込みください。

送料はセンターで負担します。

在庫の無い号はコピーで代用させていただきますのでご了承下さい。

B T Cホームページからも本誌をご覧になれます。

HPアドレス www.b-t-c.or.jp

2．希望部数の取りまとめについて

現在、本誌は1牧場につき1冊の送付を基本としておりますが、若い従業員の方をはじめ多くの皆様に本誌をご愛読頂きたく、複数部の送付を希望される牧場を募ります。

希望部数と牧場名・担当者名・所在地・電話番号・利用目的を明記し、ハガキ、F A X又はEメールで下記までご連絡ください。

申し込み者多数の場合はご希望に添えない場合がございます。その場合はご了承下さい。

3．送付の継続・中止について

(生産牧場、育成牧場の皆様へ)

本誌は創刊当初より日本軽種馬協会・競走馬育成協会の各会員名簿をもとに送付させて頂いております。

このため、各団体を脱退されますと送付が止まることがありますのでご注意ください。

なお、引き続き送付希望の場合はご一報ください。

また、本誌の送付を希望されない方、不要な方もご一報ください。

今後の送付を停止させていただきます。

申し込み・問い合わせ先

〒183-0024 東京都府中市日吉町1-1 東京競馬場内

財団法人 軽種馬育成調教センター 企画調整課

TEL : 042-358-1173 FAX : 042-358-1174

E-Mail : kikaku@b-t-c.or.jp